

2016年度連結決算 説明資料



2017年4月28日
東邦ガス株式会社

目 次

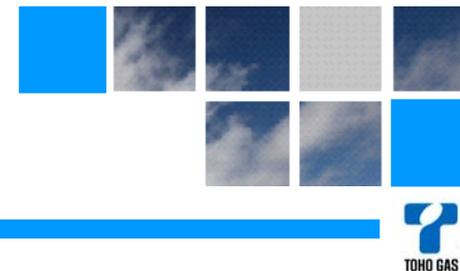


1. 2016年度決算の概要	3
2. 2017年度の見通し	10
<トピックス>ガス全面自由化への対応	14
<参考>中期経営計画目標の進捗	20

本資料における業績予想及び将来の予測に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。従いまして、実際の業績は、さまざまな要因により、これらの業績予想とは異なることがありますことをご承知おき下さい。

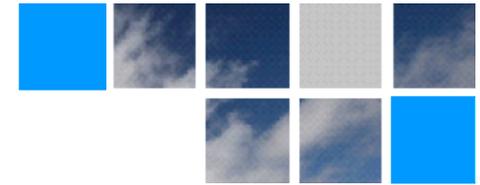
1. 2016年度決算の概要

(1)まとめ



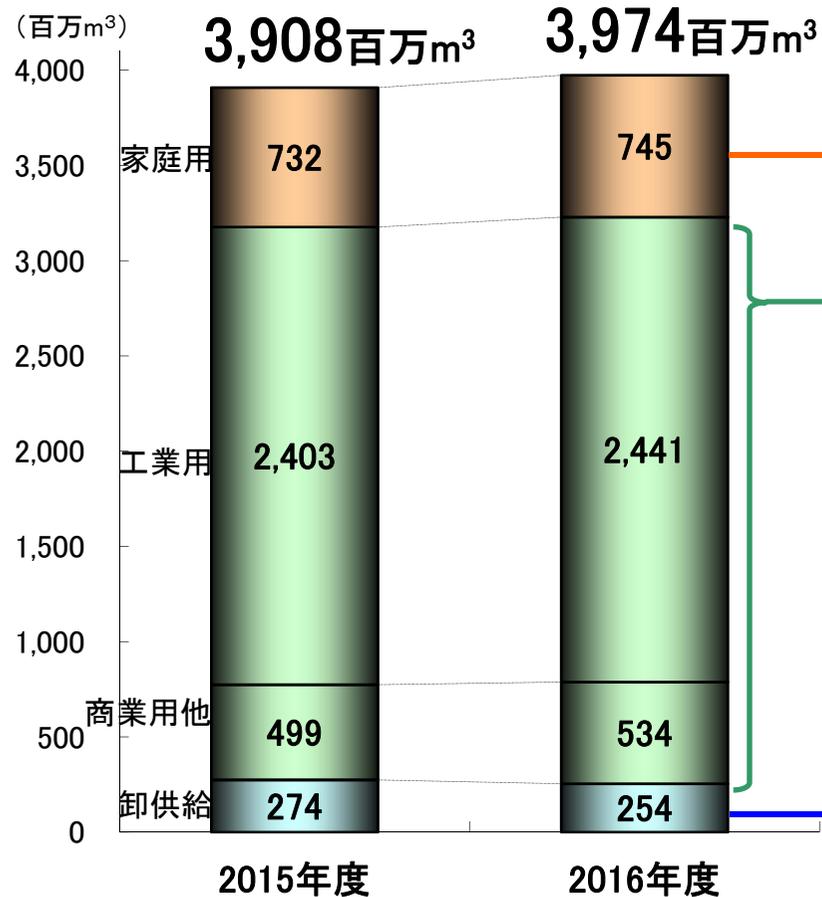
- ガス販売量は3,974百万m³、対前年1.7%増
LPG販売量は454千トン、同4.5%増
- 売上高は3,904億円、対前年18.6%減
経常利益は244億円、同59.9%減

(2) 取付メーター数・販売量(2016年度)



2,409千件 2,434千件 (+1.1%)

都市ガス + 66百万m³ (+1.7%)



家庭用 + 13百万m³ (+1.7%)
お客さま数の増加や冬場の気温影響等により増加

業務用 + 73百万m³ (+2.5%)
需要開発等により増加

卸供給 Δ 20百万m³ (Δ 7.3%)

LPG

取付メーター数※ +2.8%: 466千件 → 479千件

※ 配送受託件数含む

販売量 +4.5%: 434千トン → 454千トン

平均気温 (対前年比較)	上期	下期
	23.4°C(+0.6°C)	9.8°C(Δ1.0°C)

(3) 収支状況(2016年度)

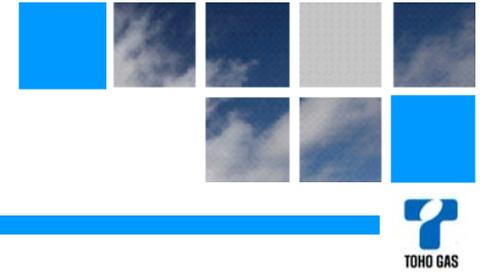


単位: 億円



	2016年度	2015年度	増減	増減率	計画 (3Q決算時)	増減
ガス販売量 (億m ³)	39.7	39.1	0.6	1.7%	40.2	△ 0.5
売上高	3,904	4,798	△894	△18.6%	3,980	△ 75
売上原価	2,304	2,780	△475	△17.1%	—	—
供給販売費 一般管理費	1,367	1,410	△ 43	△ 3.1%	—	—
経常利益	244	611	△366	△59.9%	220	24
親会社株主に帰属 する当期純利益	177	430	△252	△58.7%	155	22

(注) 原油価格(全日本CIF) : 2016年度 47.5ドル/バレル、2015年度 48.7ドル/バレル (1.2ドル安)
 為替レート(TTM) : 2016年度 108.4円/ドル、2015年度 120.2円/ドル (11.8円高)



(4) 経常利益 増減要因(2016年度)

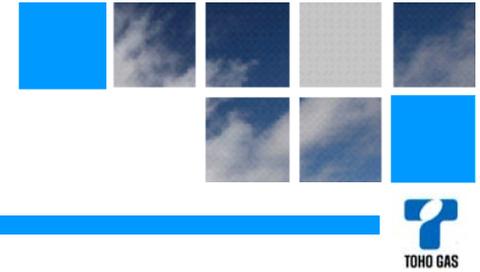
◆ 対前年

経常利益(611億円⇒244億円) Δ 366億円

■ ガス販売量の影響 + 15億円

■ スライドタイムラグの影響 Δ 410億円
(2015年度 +390億円 ⇒ 2016年度 Δ 20億円)

■ その他 + 28億円



(5) 経常利益 増減要因(2016年度)

◆ 対計画(3Q決算時)

経常利益(220億円⇒244億円) + 24億円

■ ガス販売量の影響 △ 15億円

■ スライドタイムラグの影響 + 10億円
(計画 △30億円 ⇒ 実績 △20億円)

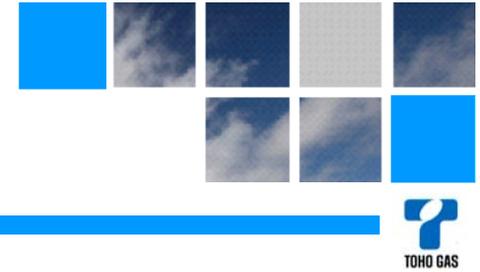
■ その他 + 29億円

(6) 財政状況(2016年度)

単位: 億円



	2016年度	2015年度	増減		2016年度	2015年度	増減
総資産	5,329	5,552	△222	営業CF	372	1,149	△776
(投資有価証券 評価益)	(517)	(440)	(77)	投資CF	△579	△421	△157
純資産	3,068	2,851	216	(フリーキャッシュフロー)	(△207)	(727)	(△934)
自己資本 比率	57.6%	51.4%	6.2 ポイント	財務CF	△229	△318	88
有利子負債	1,149	1,271	△122	現預金の増減額	△438	408	△847
ROA	3.3%	7.8%	△4.5 ポイント	現預金期末残高	164	603	△438
ROE	6.0%	15.1%	△9.1 ポイント	設備投資額	492	401	91
				減価償却費	354	329	24



(7) 株主還元

- 配当：期末配当は5円、中間配当の5円を加え通期で10円を予定
- 自己株取得：上限370万株、30億円の取得を決議

<参考> 株主還元の推移

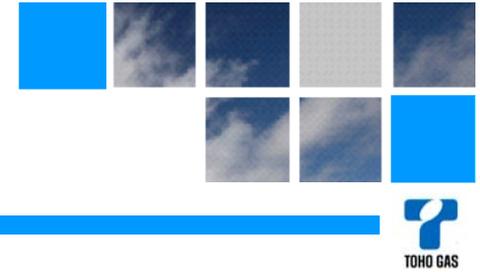
単位：億円

年度	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	8年間合計
親会社株主に帰属する当期純利益※ (a)	109	144	85	85	112	190	430	177	1,336
配当 (1株あたり配当)	44 (8円)	44 (8円)	46 (8.5円)	49 (9円)	49 (9円)	51 (9.5円)	54 (10円)	53 (10円)	392
自己株取得	29	27	—	—	—	29	45	30 (上限)	163 (上限)
配当＋自己株 (b)	74	71	46	49	49	81	99	83 (上限)	556 (上限)
総還元性向 (b)/(a)									42%

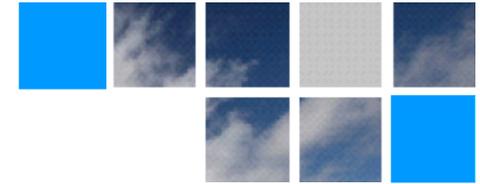
※ 2014年度までの表記は「当期純利益」

2. 2017年度の見通し

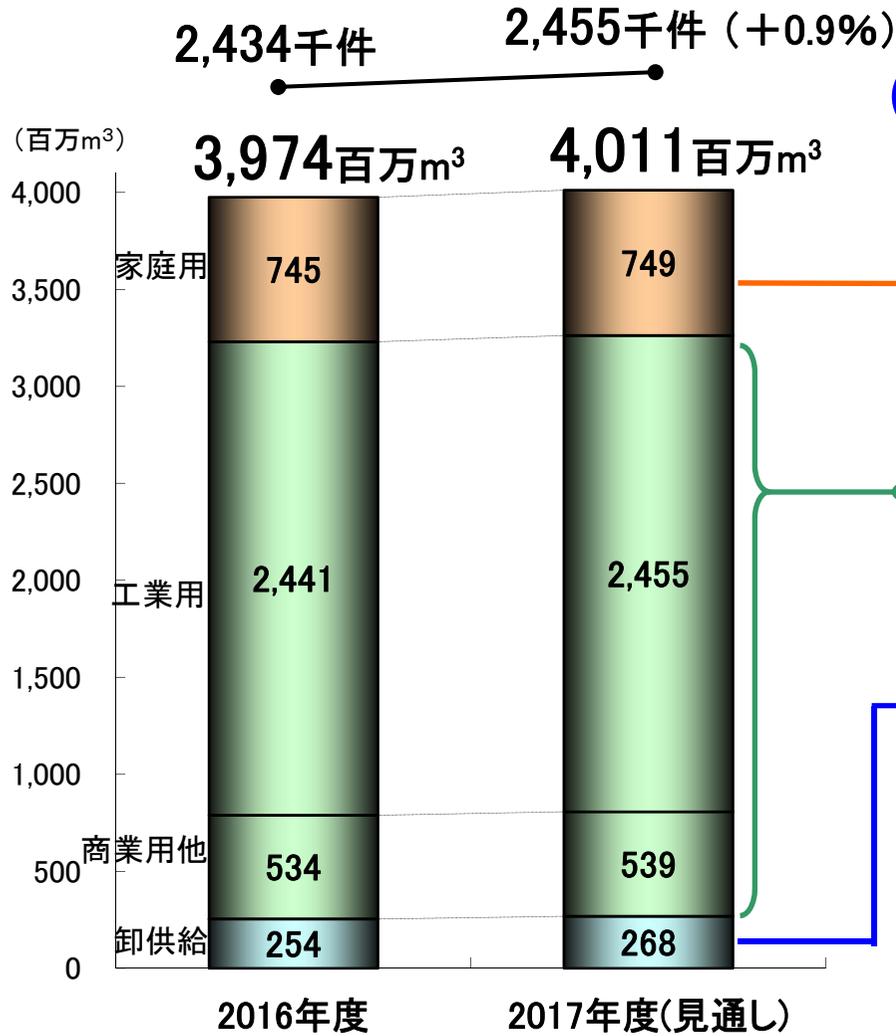
(1)まとめ



- ガス販売量は対前年0.9%増の4,011百万m³、LPG販売量は同0.2%増の454千トンを見込む
- 原油価格60ドル/バレル、為替レート115円/ドルの前提で、売上高は対前年13.0%増の4,410億円、経常利益は同2.1%増の250億円を見込む



(2) 取付メーター数・販売量(見通し)



都市ガス + 37百万m³ (+ 0.9%)

家庭用 + 4百万m³ (+ 0.5%)

業務用 + 19百万m³ (+ 0.7%)

卸供給 + 14百万m³ (+ 5.2%)

LPG

取付メーター数※ +1.2%: 479千件 → 485千件
※ 配送受託件数含む

販売量 +0.2%: 454千トン → 454千トン

平均気温	16.6°C	16.5°C	Δ0.1°C
------	--------	--------	--------

(3) 2017年度の見通し



単位：億円

	2017年度 見通し	2016年度	増減	増減率
ガス販売量 (億m ³)	40.1	39.7	0.4	0.9%
売上高	4,410	3,904	505	13.0%
経常利益	250	244	5	2.1%
親会社株主に帰属 する当期純利益	180	177	2	1.4%
設備投資額	464	492	△28	△5.7%
減価償却費	370	354	15	4.3%

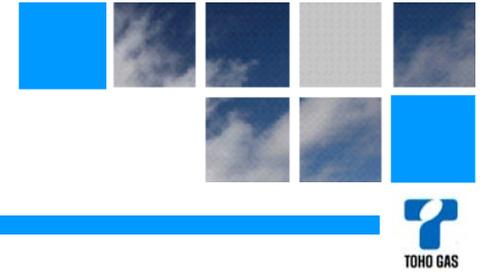
【前提】

(単位：\$/bbl、円/\$)

【感応度(年間)】

	2017年度	2016年度(実績)	増減
原油価格	60	47.5	12.5
為替レート	115	108.4	6.6

	原材料費	粗利益
原油価格 1\$/bbl	22億円	6億円
為替レート 1円/\$	10億円	3億円



(4) 経常利益 増減要因(見通し)

◆ 対前年

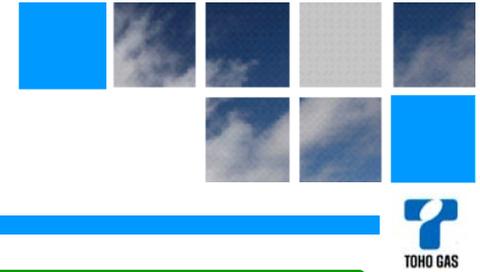
経常利益(244億円⇒250億円) + 5億円

■ ガス販売量の影響 + 10億円

■ スライドタイムラグの影響 △ 60億円
(2016年度 △20億円 ⇒ 2017年度 △80億円)

■ 固定費の減少 + 28億円

■ その他 + 27億円



<トピックス>ガス全面自由化への対応

「お客さまのための自由化」を実現し、
お客さまに選ばれ続ける企業を目指すとともに、
当社グループの持続的な成長を目指す

強いガス事業の構築

- 「総合力」の強化
- ①安全・安心と安定供給の確保
 - ②お客さまとの関係深化
 - ③競争力の強化

さらなる成長の実現

「ガス事業の広域展開」、「事業領域の拡大」

強いガス事業の構築

～総合力の強化～



①安全・安心と安定供給の確保

- 「何かあればすぐにお客さま先へ駆けつける」DNAと現場での高い対応力
 - 営業所やENEDOをはじめとした約180拠点、総勢3,000人の体制
 - 24時間365日の受付体制のもとで、高い技術力を持つ当社グループ社員が迅速かつ的確に対応



お客さまの安全確保に向けた取り組みを強化し、
「東邦ガスだから安心」して選んでいただく

②お客さまとの関係深化

■ ENEDOやグループ会社と一体となったきめ細やかなサービス

- 家庭用では、電力販売、「らくらくメンテ」、「らくらく暮らしサポート」、省エネ診断、リフォーム提案など一層のサービス拡充
- 新ガス料金「がすてきトクトク料金」など様々な料金プランの設定
(新ガス料金申込み:約21万件、選択約款継続同意:約33万件(4/26時点))
- 業務用では、高効率ガス機器やコージェネレーション導入などの提案
- 総合ユーティリティサービスや工業炉シミュレーション技術など質の高いエンジニアリングサービスを充実



多様なニーズにお応えするサービスを提供し、暮らしとモノづくりを支える企業として選んでいただく

③競争力の強化

■ 低廉なエネルギーの安定調達

➤ LNG導入における契約形態、価格指標、調達地域の多様化

- ペトロナスポートフォリオ契約からの導入(2017年以降)
- 北米からの調達開始(2018年度予定)

➤ LNG船への出資参画

- 北米キャメロンLNG輸送用新造船船の共同保有



■ 経営効率化の推進

➤ 効率的な設備形成、間接部門の要員効率化、各分野のコストダウン

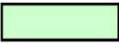


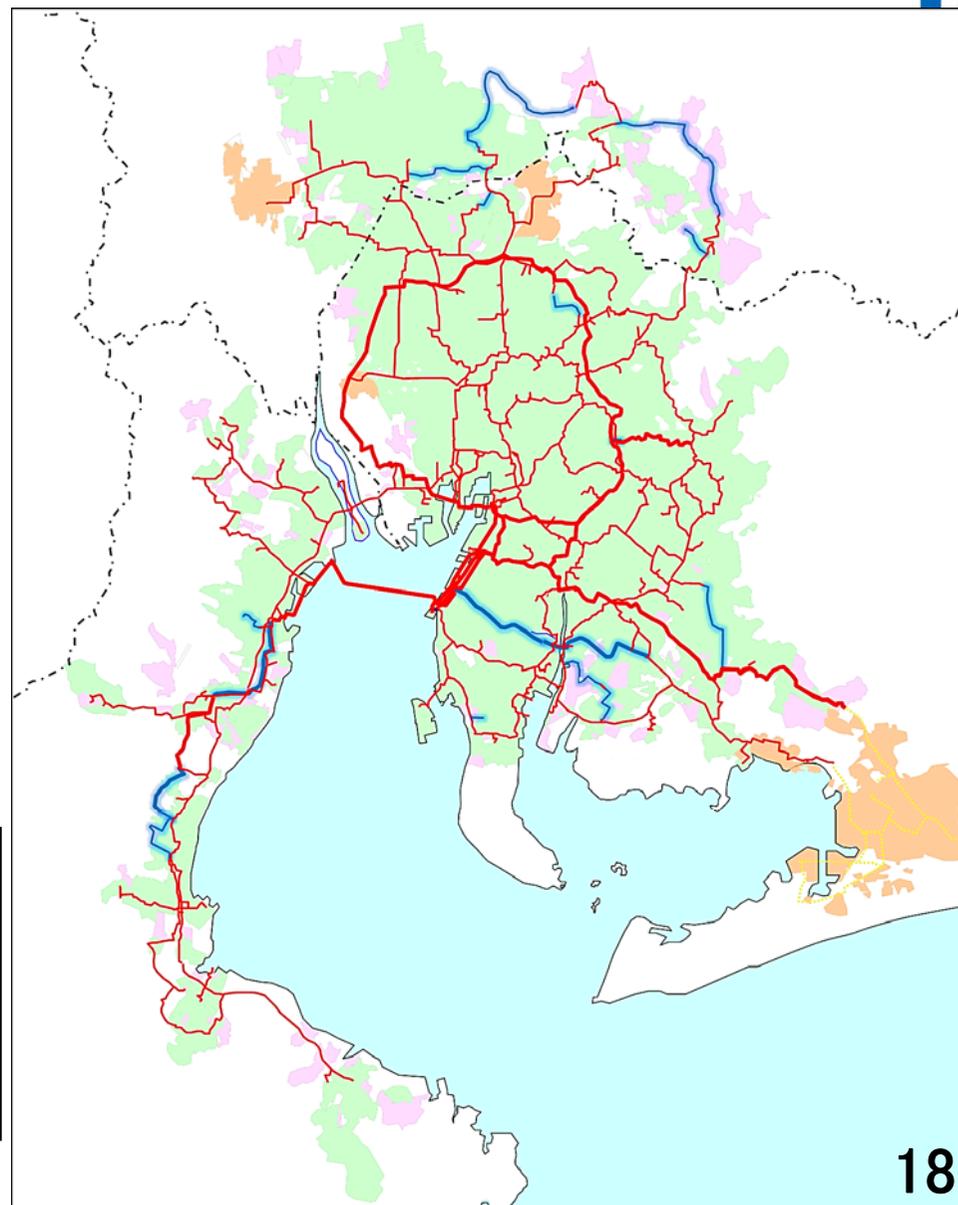
低廉なエネルギーの安定調達や経営効率化に努め、
競争力の強化と着実な利益成長を目指す

さらなる成長の実現

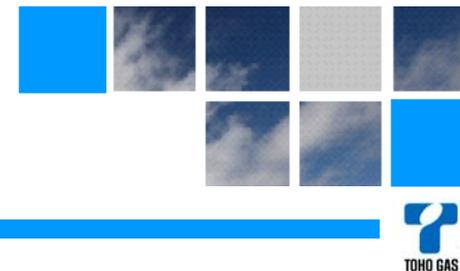
①ガス事業の広域展開

- ▶ 都市ガス導管網の増強・延伸による供給エリアの拡大
 - 三重幹線、土岐～可児線、岐南～各務原線の建設
- ▶ さらに広域なエリアにおけるLNG販売の強化
- ▶ グループ経営の柱の一つであるLPG事業の拡大

	当社供給エリア
	主な当社新規供給予定エリア(2017~2021年度)
	卸供給先供給エリア
	基幹路線
	計画路線



さらなる成長の実現



②事業領域の拡大

▶ グループ・周辺事業の拡張

- リフォーム事業、総合ユーティリティサービス事業など、お客さまへのサービスを拡充
- 豪州イクシスLNGプロジェクト(2017年から生産開始予定)、ポルトガルガス配送事業会社への出資(2016年10月)

▶ 電力販売の強化

- 四日市工場での調整用電源(16.5MW)の運用開始(2017年秋予定)
- 電源調達先の多様化を進め、より低廉で安定的な電力調達を実現

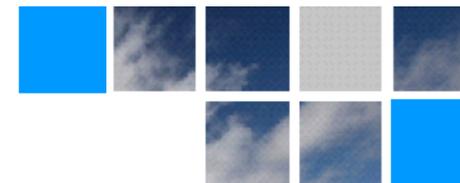
▶ スマートタウンの実現

- 「みなとアクルス エネルギーセンター」竣工(2017年3月)
- 2018年秋の「まちびらき」に向け、ガス・電気・熱エネルギーの一括供給体制を整備



[エネルギーセンター]

<参考> 中期経営計画目標の進捗



		2016年度	2017年度 (見通し)	増加率	中計目標 2018年度	2013~18年度 平均伸び率	ビジョン目標 2022年度
取付メー ター数	天然ガス	243万件	246万件	+0.9%	246万件	+0.8%	250万件
	LPG※1	48万件	49万件	+1.2%	48万件	+1.8%	50万件
販売量	天然ガス※2	41億m ³	41億m ³	+0.9%	45億m ³	+2.2%	50億m ³
	LPG	45万トン	45万トン	+0.2%	47万トン	+2.3%	50万トン

※1 配送受託件数を含む

※2 LNG販売分を含む

	前回中計平均 (2009~13年度)	2016年度	2017年度 (見通し)	中計目標 2018年度	ビジョン目標 2022年度
営業キャッシュフロー	482億円	372億円	550億円	580億円	600億円
D/Eレシオ	0.7	0.4	0.4	1.0以下	1.0以下
ROA	2.1%	3.3%	3%程度	3%程度	3%以上